

## 編集後記

日弁会誌の発行が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

今日、漸く会誌の完成までたどり着くことができました。これも、偏に、原稿の執筆、写真の提供など、多方面に渡り、快くご協力を戴いた会員先生方のお蔭であると共に、本来の業務を多々抱えながら、精力的なボランティア活動を展開していただいた本誌会誌委員の皆様の御尽力の結晶でもあると思います。本誌が、日本弁理士クラブの1ページを埋めるマイルストーンとして会員の皆様にご利用いただけますことを希望いたしますとともに、この場を借りて、関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

侵害だ、侵害じゃないという議論に朝から晩までどっぷりつかり、ふと、隣の部屋を見ると個人破産部での人生いろいろ、廊下を挟んだお迎いは、娘さんが高校にいけなくなったと主張するリストラ関係の労働部、いたたまれなくなって下の階に移動すれば、小さな子供をなくした悲痛な表情の母親が訴える医療過誤事件、刑事事件の母親の証言に傍聴人であるにもかかわらず、思わずもらい泣きをしてしまった裁判所職員が、ふと弁理士にもどるとき、弁理士っていい職業だな～とホッとする……。

日本弁理士クラブの活動が一層活発化するよう、一会員としても努力していきたいと感じております。

(杉村 純子)

今年度は当初、特定侵害訴訟代理業務能力担保研修のくじに外れてしまい、暇になると思っていたいろいろ委員会をお引き受けしたところ、思いがけず補欠で入れて頂けたのがうれしい(?) 誤算の始まりで、仕事と研修と委員会活動とで首が回らなくなって、各方面にご迷惑をおかけしてしまいました。紙面をお借りしてお詫び申し上げます。この日弁会報の作成も、連絡不足で関係の先生方や担当の方にご心配とご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。そして、私の不手際で短くなってしまった締め切りま

での時間に、素晴らしい原稿を仕上げた先生方に、厚く御礼申し上げます。

(藤谷 史朗)

日弁会報委員会副委員長として、日弁会報の編集に携わることができましたことは、私にとってたいへんな名誉です。

編集の仕事は不慣れなことが多く、皆様にはご迷惑をかけました。

原稿をお願いしました先生方におきましては、快く執筆をお引き受けいただきましてありがとうございました。

最後に、ともに春秋会担当として、編集をしていただきました落合稔先生に感謝いたします。

皆様、ありがとうございました。

(磯山 弘信)

担当者からの催促のメールを頂いて慌ててこの後記を書いています。そう思うと、原稿を依頼した方々の気持ちもよく理解できます。決して執筆依頼自体を邪険にしていたということではなく、ほんのちょっと「忘れていた」だけなんですね。「書く気」はあるわけなんですね。

翻ってみると、かつて「パテント」の編集を担当したときも、同じような「反省」をしたことを思い出しました。そうするとそのときの「反省」も、ほんのちょっと「忘れていた」だけなんですね。

結局、このような「忘却癖」が、現在の自分の人格の一部を形成していることを、あらためて認識させて頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。

末筆になりましたが、執筆依頼を快く引き受けて下さった方々に、この場を借りて衷心からお礼申し上げます(自分と比較すると、本当に頭が下がります)。

(金本 哲男)

ご多忙中にもかかわらず原稿をご執筆いただきました皆様、ありがとうございました。今年は新日鐵

名古屋製鉄所での事故、ブリジストン栃木工場、出光興産北海道製油所での大規模な火災と、製造現場での大規模な事故が相次ぎました。また、つい先日は国産H2ロケットの打ち上げ失敗という事態に至りました。この国では、NHKのプロジェクトXで紹介されるような皆さんがたくさんいらして、研究・開発分野や、製造現場を支えてくださっているのであろうと考えていたのが大甘であったのかもしれないと少し不安を感じつつこの年が終わろうとしています。来る年は、知財立国日本、技術立国日本などという掛け声にふさわしい国であることを示せる出来事が多くなるように願っています。

(涌井 謙一)

今回の会報委員会が、私の記念すべき日弁の委員会デビューとなりました。第1回目の委員会に参加できず(申し訳ありません!)、何をどうしてよいのやら全くわからない状態のまま、何とか編集後記をしたためるところまでこぎ着けることができました。これも偏に、お忙しい中、快く原稿の執筆を引き受けてくださった先生方と、他の委員の先生方(特に藤谷先生、お世話になりました)のご協力があったからです。この場をお借りして、お礼申し上げます。どうもありがとうございました。

皆様に楽しく読んで頂ける会報になったのではな  
いかな~とっております!

(岡田 英子)

「健康へのタバコの害がうるさいほど叫ばれ、タバコを吸う人がめっきり少なくなりました。

私どもの事務所でもタバコ吸いは、私一人となり

所内禁煙となってしまいました。もっばら、寒風吹きすさが非常階段にて、一人喫煙タイムを過ごしております。

タバコを吸うと、口内がいがらっぽくなり、トイレのついでにうがいをするが多くなります。年齢と共にトイレも近くなり、うがいの回数も増加傾向にあります。そのせいでしょうか、カゼをひかなくなりました。

喫煙も捨てたもんじゃないな、と思う昨今です。「SARS」対策にはうがいもいいそうです。」

(落合 稔)

今年初めて会誌委員を勤めさせて頂きました。とは言っても、実際には、原稿を催促しただけでしたが。

正直、私は今まで日弁会誌を読んだことがなかったのですが、原稿の内容を確認する意味もあり、今回初めて読みました。多くの先生方の貴重な体験談や御意見、豆知識的な情報などが書かれており、非常に興味深い内容になっていると思います。

最後になりましたが、原稿をご執筆頂いた先生方、お忙しい中、誠に有り難うございました。

(金田 周二)

総務省が行っているITベンチャー支援セミナーのお手伝いをした。非常に地道な活動であり、知財支援センターの弁理士の方々の努力に支えられているが、その負担はかなりのものだ。知財普及のために、会員全員がなかば強制的に活動に参加することを検討すべきでは。

(土井 健二)